

#11 【評価を受ける場があなたを加速させる】 コーチが伸びる環境の作り方

こんにちは、
ジュニアサッカー大学、講師のカズです。

今回は

「最速で指導力を上げるモデリング学習」

を紹介しました。

今日はその次の一手

「評価を受ける環境」に飛び込むと、成長スピードは何倍にも跳ね上がる

というリアル体験をシェアします。

====

【なぜ『評価される場』が必要なのか？】

自己流＝ぬるま湯

他者の視点＝アイスバス

①客観的なフィードバックがないと、自分の課題は永遠に「死角」のまま。

②評価されると“緊張&準備”がセット → 1 回の練習にかける濃度が爆上がり。

③クリアすべき基準が見えるので、 やることがシンプル になる。

====

【僕の3つのリアル転機】

①JFA 指導者ライセンス

・メニュー考案&指導実践でチェックされる

②スペイン系のサッカースクール

- ・スペイン人コーチ&著名指導者による全練習のフィードバック

③スペイン留学

- ・毎週のテスト&スペイン語で指導実践

④スペイン留学後

- ・毎日スタッフとお互いにフィードバック&ディスカッション

結論：緊張感 MAX の場ほど成長幅も MAX になります。

====

【いますぐ作れる 3 つの評価ルート】

①チーム内の相互チェック

月 1 でも良いので「練習を観て→5 分で良い所と課題を交換」。

②セルフ動画レビュー

スマホで固定撮影→夜に見返すだけでも癖や改善点が見える。

③公開練習・講習会に参加

ライセンス講習、地域の研修会など『他人の目』がある場へ。

緊張感こそ最強の成長装置です。

====

【30 秒ワーク | 評価プレッシャーを 1 つセット】

①今週中に“誰に・どの場面で”自分の指導を見てもらうか決める。

②カレンダーに予定をブロック。

③当日までに「ここだけは見てほしいポイント」を 1 つ準備。

====

↓もっと深掘りしたい方へ

ブログ記事：サッカーコーチ【評価を受ける環境】必ず成長します：リアルな実体験

%url1%

====

それでは、今回も最後まで読んでいただき、ありがとうございました！

指導は“見られて”初めて磨かれる。

勇気を出してアイスバスに飛び込みましょう。

冷たいけれど、上がった後は別人です！

ジュニアサッカー大学

カズ